



# 軽井沢リゾートコンサート



下記の文化施設でリゾートコンサートを開催します。

とき	ところ	出演	定員
10月25日(土)	追分宿郷土館 ☎45-1466	尾尻雅弘 (ギター)	定員無し
11月15日(土)	旧雨宮邸ギャラリー「蔵」 ☎45-8695 (申込先、平日のみ)	藤巻良康 (ウッドベース) 小夜子 (ヴァイオリン) 眞間麻美 (ピアノ)	各回25名 ※要申し込み
11月22日(土)		堀辰雄文学記念館 ☎45-2050	原田遼太郎 (コントラバス) 永富さおり (チェロ)

料金：大人400円、高校生以下200円（施設入館料）

【申し込み・問い合わせ】 生涯学習課 文化振興係 ☎45-8695

「いろいろな子どもが通える学校？」「いろいろな勉強ができる学校？」「自由度が高そうなイメージの学校？」「自分で選択して学べる学校？」

町では令和9年度に、「学びの多様化学学校」と「夜間中学校（『こころぼ』令和7年8月号参照）」を併設した「軽井沢オーブンドアスクール（仮称）」の設立の準備をすすめています。「学びの多様化学学校」は、様々な事情から学校に行きづらかったり行けない子ども達の学びを行うところで、令和5年までは「不登校特例校」と呼ばれていました。令和5年に文部科学省は「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（CO-COLOプラン）」をまとめ、そのプランの目的の一つとして「不登校により学びにアクセスできない子ども達をゼロにすること」と掲げてい

## 学びの多様化学学校



スクールパートナー  
(臨床心理士・公認心理師)  
小林 真理

ます。学校へ足が向かない子どもが、従来の自分の学校に通えるようになり学びを取り戻していくように支援していくことも一つですが、学校へ足が向かない状態にあっても「学び」へのアクセスを大切にし、子ども達が学びたいと思ったときに学べる環境を整えていくことが目指す姿として示されています。

さて、あまり深く考えたことはないかもしれませんが、「不登校」は「不」という否定や打消しの意味を持つ言葉が入っているため、何となく悪いことのような印象を持たれてしまうこともあります。

でも実際には、合わない環境から自分を守るための行動だったり、何らかの出来事や心を開きざるをえなかったり、学校に足が向かなくなる理由は様々です。そして多くの場合、学校に行かない時間を経て、自分自身を発見したり成長するなど、あとから振り返ると大切な時間だったと気づくこともあります。ただ、その渦中においては、不安や葛藤など、何とも言えないネガティブな気持ちになってしまいがちです。だからこそ、少しでもポジティブな気持ちや希望が持てるように、学びの多様化学学校は一人ひとりに

寄り添いながら、いつでも自分のペースで学びとつながれる学校だといえるでしょう。

不登校は、どの子ども達もなりうる自然な状態です。でも、実際に学校に足が向かないことで、心に不安を抱えていたり、「学校に行くことが『あたりまえ』」ならば、行けていない自分は何なのか」と自己肯定感が下がり否定感が深まってしまったり、家族の方も「このままでいいの？」と心配になったり、学校に行けている子と比較してしまうなど、様々な葛藤を抱えていることも少なくありません。そのような子ども達が安心して通える学校として、学びの多様化学学校があるのです。

学びは社会とつながっていくための、人を信頼していくことを育む大切なものです。インクルーシブでフレキシブルな学びの場として「学びの多様化学学校」が必要な子どもにしっかりと届いていくよう、私たちも努めていきます。



過去の『こころぼ』は町ホームページからご覧いただけます。